

平成28年度 第4回 尾道市公立大学法人評価委員会 議事要旨

日時：平成29年3月15日（水）14時00分～15時30分

場所：尾道市立大学E棟1階120会議室

出席者：尾道市公立大学法人評価委員会 堂本委員長、宜名眞委員、高垣委員、
豊田委員

事務局 中津総務課長、岡総務課長補佐、小田原主任、
石井主事

公立大学法人尾道市立大学 中谷理事長、川田理事、塩川理事、井上理事、
藤澤日本文学科長、石井総務課長、
神田学務課長、加来企画広報室長、
土岸企画広報室長補佐、堀江専門員、
森下主任

報告事項：1 平成28年度第3回尾道市公立大学法人評価委員会議事要旨について

議 題：1 公立大学法人尾道市立大学役員の報酬等の支給基準について

2 公立大学法人尾道市立大学中期目標（第2期）について

3 その他

【報告事項】

1 平成28年度第3回尾道市公立大学法人評価委員会議事要旨について

平成28年度第3回評価委員会議事要旨について、審議の結果、全会一致で承認することとし、速やかに公開することとした。

【議 題】

1 公立大学法人尾道市立大学役員の報酬等の支給基準について

公立大学法人尾道市立大学役員の報酬等の支給基準について、審議の結果、尾道市立公立大学法人評価委員会からの意見の申出はないことを確認した。

2 公立大学法人尾道市立大学中期目標（第2期）（案）について、事務局から説明を行った後に、次の意見が出された。

第4 教育研究等の質の向上に関する目標

1 教育の質の向上に関する目標

（3） キャリア教育の充実

（委員） 学生は大学に入学時に、今後自分が何になりたいか、何に適正があるか

を簡単に整理することに陥りやすいが、大学の4年間で有効的に取り組むための意識付けをする、というところがこの目標になってくる。

(委員) 大学を卒業後、どの企業でも中心的な役割を担っていけるようなノウハウを習得する、という点を充実するなら大学としての価値が出てくると思う。就職のためのキャリア教育にならないように、尾道市立大学の学生がその先の人生を含めたキャリアを充実させるような、息の長い教育という意味での目標を掲げるべき。

2 研究の質の向上に関する目標

(2) 研究の活性化

(委員) 「科学研究費補助金の積極的な獲得を目指す」とあるが、活性化を図るために、資金の獲得を目指すという表記は、第7「財務内容の改善に関する目標」の(1)外部資金等の獲得の項目に組み込むことができると思う。

(大学) 科研費を申請することは、各研究者の研究レベルをあげていくという点では、目標に挙げることは意味があると思う。

(委員) 科研費の獲得を目指すことは、自分の研究の方向性を見出し、自分の実績をあげていくよい機会になると思うが、大学の教授にとっては、科研費の取得のために研究をしているわけではないという意識があると思う。

(3) 研究の実施体制

(委員) 「研究成果を積極的に広報を行う」とあるが、サテライトの活用等の特色あることを行ってもPRの力が弱いために、あまり街の人に伝わっていないような印象を受ける。広く周知していく広報ではなく、一つのコンテンツを使ってそれをどのように広めていくかという積極的なPRをしないといけない。

3 学生の確保及び支援に関する目標

(1) 学生の支援

(委員) 尾道市立大学に行って学びたいと思わせるような特色をもっと組み込むべきだと思う。

(委員) 学生を確保するために、どのくらいの地域まで広報活動をしているか。また、受験生の反応はどのようなものか。

(大学) 中四国全般、九州、兵庫県など受験生の多い箇所を実績を見ながら積極的に個別に訪問し、進路相談の先生方と話をしている。また、企業単位の説明会が全国的に開催される時には参加をしている。

進路説明会を実施する中で、美術系の大学は限られていることから、生徒が進学の意志を持って参加しており、反応がよい。

第5 地域貢献及び国際交流に関する目標

2 国際交流に関する目標

(1) グローバル化の推進

(委員) 尾道市への観光客が増えてきたという印象がある。これから尾道の観光を学生や留学生間のみでの交流だけではなく、地域交流と結び付けていくとよいと思う。

学んだ事を発揮できる場があれば、学生も語学の勉強にも励むと思う。

(委員) 交流が大学だけに留まらず、地域全体をキャンパスとして、地域と一体になって行っていけばよいと思う。

3 その他

中期目標について

(委員) 尾道市立大学ならではの価値を吸収することによって、大学を卒業した学生が社会で通用するような人になる、というような目標でなければならない。

(委員) 大学という恵まれた環境の中で、高い目標を掲げながら、大学にしかできない研究の実績をあげていく必要がある。

目標の項目をまとめた時に、大学の方向性が分かるような大目標を打ち出すと様々な目標を立てやすく、市民への説得力も出てくる。